

# 市街地における市場の空間利用特性に関する研究 韓国・蔚山市を事例として

大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻 李 映娥  
 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻 澤木 昌典  
 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻 鳴海 邦碩

## 1. 背景及び目的

韓国都市が都市化する過程において、市場は中心的な商業空間の位置を占めてきた。韓国都市の市場は、近代的な市街地形成の以前から存在しており、市街地開発とともに建設された商業施設とは異なり、店舗と露店とが集合して一つの商業ゾーンを形成しているという特徴を持っている。これら市場は、今日の都市空間においては、一般的に、乱雑な景観、都心における非効率的な土地利用、交通・歩行を阻害する露店の道路不法占用など、様々な問題を持った場所として取り扱われている。しかし、地方、市街地開発・再開発の結果建設された近代的商業施設も、大量の集客にともなう交通問題の発生や画一的建物景観による地域性の消失などの問題を有している。市場は、これまで長年にわたって韓国の都市空間を特徴づけてきた構成要素であり、今後の韓国都市の都市空間のあり方を考える際には、その多様な景観要素、大量の集客によらない小規模店舗の集合であること、仮設的空間利用による空間のオープン性維持などの点から、魅力的な空間構成要素であり続けると考えられる<sup>1)2)</sup>。

そこで、本研究では韓国都市空間における今後の市場のあり方および活用の可能性を考察するために、市場の空間利用実態に着目して、市街地の変遷とも関連した市場の空間利用特性を明らかにすることを目的とする。調査対象地としては、1962年から工業都市に指定され、韓国の他都市に比べて計画的に都市基盤整備がなされてきた蔚山市を選んだ。調査方法は、蔚山市の市街地形成と市場の開設時期・分布状況との関係を明らかにするとともに、実際の市場に対する観察調査によって、その空間構成や業種、さらには露店の道路占用実態について明らかにした。

## 2. 韓国市場の空間構成の概要

韓国の市場は、首都に設置された「シゾン」という常設の公設市場を除けば、主には自然発生的に形成されてきた「場市(ジャンシ)」という定期市場が中心であった。場市は地域の境界部や城の周りなどで定期的に数日おきに街路で開設された市場で、地域の生産物を交換する人たちの集まりであった。このような市場は都市の近代化の過程においても、様々な形態で存続している。

現在の市場は「流通発展法」によって「大規模店舗」の一つである商業施設として定義されており、定期市場は「一定区域中で多数の需要者と供給者が定期的あるいは季節的に集まって商品を売買するしたり、用役を提供する場所」と定義されている。さらに行政的には1980年以前に登録された市場は在来市場として分類されている。これは、「市場法」に基づいているが、その定義は、「毎日多数の需要者と供給者が来集し物品の売買交換を行う場所、定期あるいは季節的に多数の需要者と供給者が来集し物品の売買交換を行う場所、20人以上の営業者が各令で定めた施設を備えた同一建物内で物品の売買交換を行う場所」であり、これらについては常設・定期といった分類はない。1980年以前の市場は、建物を中心にする現在の市場とは異なり、街路空間をも含んだ市場領域が形成されるのが一般的であった。

表1<sup>3)</sup>は、全国の市場数を示したもので、在来市場数、定期市場数を合わせて示している。全国には、都市化が進んだ大都市に常設市場が集中しており、地方都市には定期市場が多く開設され

表1 全国の市場分布数

	人口(万人)	面積 (km <sup>2</sup> )	市場	在来市場	定期市場
京 都 市	ソウル	18,289,529	896	219	165
	釜山	3,747,998	758	89	167
	大邱	2,649,847	895	29	37
	仁川	2,595,192	898	59	38
	光州	1,481,526	591	29	29
	大田	1,424,844	599	89	24
	蔚山	1,079,277	1,896	14	17
道	京畿道	18,689,847	18,196	171	59
	江原道	1,649,898	18,878	4	48
	忠清北道	1,581,449	7,499	16	22
	忠清南道	1,519,551	8,596	8	22
	全羅北道	1,381,572	8,848	7	24
	全羅南道	2,059,821	11,982	22	29
	慶尚北道	2,775,896	19,828	35	27
	慶尚南道	3,149,476	19,519	111	31
	済州	552,310	1,846	15	4
	計	48,517,871	89,748	897	596



図1 蔚山市の土地利用と市場の分布



図2 蔚山市内の市街地開発過程と市場の分布

ている。前述のように、在来市場と定期市場が街路空間を利用する空間構成を持った市場と言えるので、韓国全国では58%と半数以上の市場が現在も街路空間を利用していると予想される。以下では、蔚山市を事例として市場の空間構成と街路空間利用の特性を明らかにする。

### 3. 蔚山市の市場の立地特性と分類

#### 3-1 土地利用状況と市場の分布

韓国の工業都市である蔚山市は「太和河」の北の中区に旧市街地が形成されており、南部に産業道路が開通にともない南区へと市街地開発が広がってきた。また、東区には工業団地の新規居住者のための市街地が開発されてきた。これらの市街地を中心に東の海辺は工業地域で、西の方には広大な農村地域が広がっている。

蔚山市の市場の分布は、旧市街地である中区と産業関連居住者の居住地域である東区、新市街地である南区に集中しており、工場地域と農村地域については定期市場が多く分布していた記録があるものの大方は消滅している

4)。これらを示したものが図1である。

#### 3-2 蔚山市内の市街地開発と市場の分布

市場が多く分布している蔚山市内を中心に市街地開発過程と市場の分布を調べた。市街地の開発過程と常設市場と定期市場の分布を示したものが図2である。また、蔚山市内の市場について、市場の建物開設時期と街路における領域形成時期、常設か定期かの運営方式を示したものが表2である。なお、蔚山市には、法的に登録されている市場は38ヶ所あるが、実際に営業している市場は46ヶ所であり、その中で蔚山市の市内には38ヶ所が分布している。

図2と表2から、旧市街地に多くの常設市場が分布しており、居住地として1990年代に開発された新市街地には定期市場が設置され運営されている傾向が見られる。これらは農水産物の円滑な流通のため、生産者と消費者を直接的に結ぶ一つの政策である。表2からは、街路空間を利用する市場が多く、1980年代以後に開設した18ヶ所の市場のうち3ヶ所以外が街路空

表2 蔚山市内の市場の形成時期

番号	市場名	旧市街地の形成時期(年)				新市街地の形成時期(年)			
		1960	1970	1980	1990	1970	1980	1990	
1	平浦定期市場	●							
2	カダ	●							
3	ジョング	●							
4	ダロン市場			●					
5	サンサン市場			●					
6	ムゴ市場			●					
7	ウルジュ市場			●					
8	シンジョン			●					
9	シンジョン			●					
10	ハクソン			●					
11	ダロン			●					
12	シンジョン	●							
13	マロン						●		
14	ウジョン			●					
15	太和			●				●	
16	ウルサン組合			●				●	
17	ジハ			●				●	
18	ナンモロ			●				●	
19	中島	●						●	
20	長安							●	
21	浦南プラザ		●					●	
22	新中央			●				●	
23	農水産物							●	
24	インプジュ							●	
25	シンジョン			●				●	
26	ウナム			●				●	
27	シンウ			●				●	
28	ハクソン			●				●	
29	ウルサン組合			●				●	
30	新ウルサン組合			●				●	
31	シンジョン			●				●	
32	シンジョン			●				●	
33	農水産物			●				●	
34	ドンドク			●				●	
35	ムゴ			●				●	
36	ドンファマリ			●				●	
37	ココスワン			●				●	
38	新市		●					●	

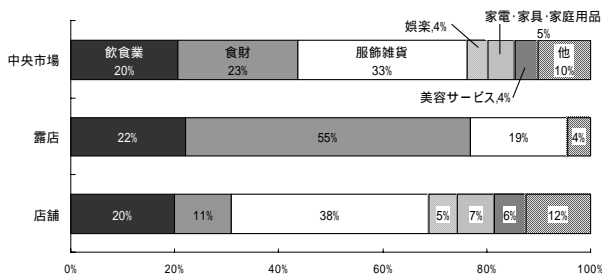


図3 中央市場の業種

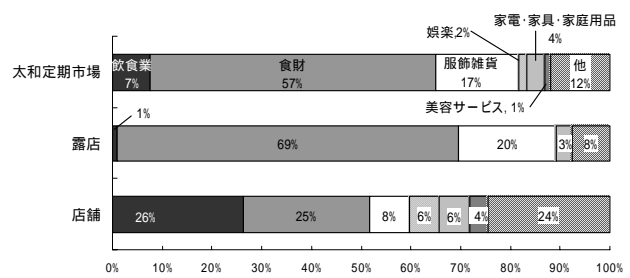


図4 太和定期市場の業種

間を利用していることが分かる。

#### 4. 常設市場と定期市場の空間利用特性

蔚山市の市場が店舗と街路空間の利用による領域形成をしている場合が多いことから、店舗と街路に分布する店それぞれの業種と露店による街路空間の占用実態を調査した。

##### 4-1 市場の業種分布

蔚山市でもっとも古い常設市場である中央市場は、1928年に倉庫型の建物として開設され、現在は周辺の店舗と露店によって市場領域を形成している。業種を調べると、建物の店舗と街路の露店では業種が異なり、街路空間では農水産物の食材の販売を中心に簡単な飲食の露店が多く分布していた。これを示したものが図3である。

蔚山市の都心部でもっとも古い定期市場である太和定期市場は、5日おきの市として、1970年代から開かれている。太和定期市場での店舗と露店の業種を調べると、太和定期市場の領域内には、常設市場である太和市场の建物もあり、定期市が開設されない日は店舗が商業機能で発揮し、街路空間は通り機能を果たす。しかし、定期市の日になると街路空間には露店が多く立地し、街路空間は農水産物の食材販売場としての商業機能を果たす。太和定期市場の店舗と露店の業種を示したものが図4である。

##### 4-2 街路空間の利用

次に、これら2つの市場の街路空間利用について述べる。

常設市場である中央市場の街路空間利用には、毎日一時的に占用して営業時間外には片付けられる街路利用と露店が置きっ放しの常設的な街路利用が見られた。片付けられる露店はこの街路の側面奥にある建物内部に収納され(写真1)、毎朝に街路空間へと出されて営業の準備をする。これらは、午前8時頃から夜21時までの営業時間には街路の中央部を占用し、それらの一部には店舗からの商品陳列台も含まれる。この街路中央部の露店と店舗から店舗前に張り出される商品陳列台によって、商品に囲まれた二列の狭い歩道空間を形成される。この街路の占用状況を示したものが図5である。軽食を売る屋台が集まっている街路では、営業時間外でも屋台が置きっ放しにされ街路空間を占用している。中央市場での営業時間と営業時間外の露店による街路空間占用状況と、公衆用の設備の位置を示したものが図6である。公衆トイレと水道に近い部分に飲食の露店が多かったが、露店商人へのヒアリングによるとトイレはそばにある店舗のトイレがよく利用されていた。

一方、太和定期市場では、定期市の日と日常とでは街路の様子が全く異なり、その利用にも特徴があ



写真1 片付けた露店の置き場の様子



写真2 日常の太和定期市場



写真3 太和定期市場



図5 中央市場の街路占用露店の特徴

った（写真2と写真3）。日常はわずかながらに街路の端に露店を出す露天商が、定期市の日には街路の中央部に露店を移したり、沿道の店舗から張り出される商品陳列台を街路の中央部に出したりする利用が見られた。日常の街路空間は通り空間であるが、定期市の日には露店商人によって、街路の中央が占用され、二列の歩行空間からなる商業空間になる。このような太和定期市場の街路占用状況を示したものが図7である。露店商人へのヒアリングによると、トイレは近くの大規模スーパーや寺院、知り合いの店舗のトイレなどを利用していった。さらに、ヒアリングでは、商人の出自について、蔚山市外の他地域からの移動商人や農産物の自家生産者、農村から団体でやってくる商人などの多様な形態の商人が参加していることがわかった。

## 5. 考察

韓国の市場は、街路空間を活用した「場市」という定期市場を中心に発展してきたが、近代的な市街地形成過程で、常設的な建物施設と街路空間を共に利用する商業空間へと変化してきた。1980年以後は法的に常設市場と定期市場とに分けて定義され、新設の常設市場は建物のみを設置することされた。しかし、蔚山市を対象に調査した結果、市場の建物周辺には街路空間を利用した市場領域が形成され、そこでは建物と街路に市場が共存した形態のものが多く存在していた。こうした現状からは、韓国都市における市場空間の形成には、建物だけではなく街路空間の活用方策もあわせて考慮しなければならないと考えられる。

蔚山市では、市街地形成過程で伝統的な定期市場が消滅しながらも、新市街地では農水産物の流通政策の一つとして定期市場が運営されているが、ここからは急に形成され、商業施設が十分でない新市街地では、これらを補完する役割が街路や空地を利用した市場にあると考えられる。

市場の街路空間利用では、常設市場の多くでは毎日、特定の商人によって街路が固定的に占用されていた。これに対して、定期市場では、多様な商人によって定期市の日だけ、街路空間が商業空間として一時的に活用されていた。韓国では、近代的な市街地形成が行われながらも、これら二つの形態の市場が現存し、どちらにおいても旧来のように街路空間を利用することが行われている。特に定期市場については、近代的な市街地が形成された後その地域の商業機能を補完するとともに地域のにぎわいを創出しており、現状の都市構造や都市基盤施設の体系を保持したままの効率的な街路空間の利用方法として、示唆の大きなものと考えられる。

### 参考文献

1) 李 喜演外 1名 (2000) 「大型割引店の立地的特性と商圏分析に関する研究」 2) 韓国流通研究所 (2000) 「在来市場の実態分析および活性化方案」 3) 大韓商工会議所 (1997) 「全国、都・小売業総覧」 4) No Yang-Ju (1984) 「蔚山地方の定期市場に関する地理学的研究」



図6 中央市場の街路占用



図7 太和定期市場の街路占用